

一般国道235号(日高自動車道) 静内三石道路(静内～東静内)に係る新規事業採択時評価

- ・大規模な地震・津波の発生に備えた信頼性の高い道路ネットワークを確保し、住民の安心・安全と国土強靱化を実現。
- ・市街地の通過による速度低下や信号交差点等による走行中の揺れの回避により、全国一の生産を誇る軽種馬産業を支援。
- ・高次医療施設へのアクセス向上により、救急医療活動を支援。

1. 事業概要

起終点: 北海道日高郡新ひだか町静内神森
～北海道日高郡新ひだか町東静内

- ・延長等: 8.0km
(第1種第3級、2車線、設計速度80km/h)
- ・全体事業費: 約520億円
- ・計画交通量: 約7,700台/日

乗用車	小型貨物	普通貨物
約5,400台/日	約1,000台/日	約1,300台/日

2. 課題

①大規模地震・津波の発生リスク

日高地域は、今後30年以内の大規模地震の発生確率が高く、大規模地震の発生により、国道235号(静内～東静内)の約85%が津波により浸水すると想定。

津波浸水予測範囲に位置する国道235号が寸断した場合、自衛隊による救援・救助、復旧活動等の遅延が懸念。

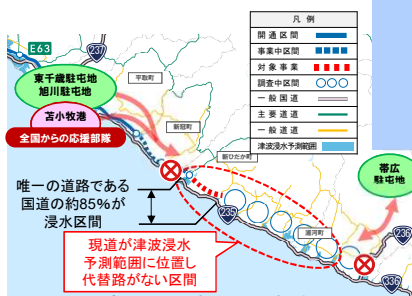


図4 日高地域の津波浸水想定区間及び救援救助想定ルート

②軽種馬の長距離輸送

日高地域は、全国生産頭数の約8割を占める全国一の軽種馬産地であるが、信号交差点や線形隘路区間で発生する走行中の揺れに起因する輸送熱^{*}を発生しているほか、貨物車の重大事故発生割合が全道平均の約1.8倍と高く、安定かつ安全性の高い輸送路の確保が課題。

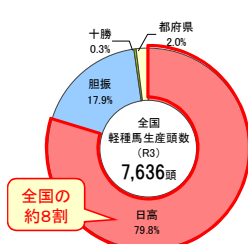


図5 軽種馬の生産頭数



写真1 市街地を走行する馬連車

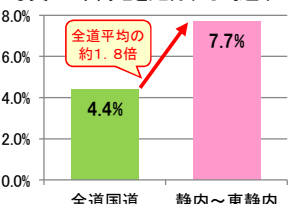


図6 貨物車の重大事故発生割合

^{*}輸送熱とは、走行中の揺れやストップ&ゴーに起因する馬の呼吸器疾患。

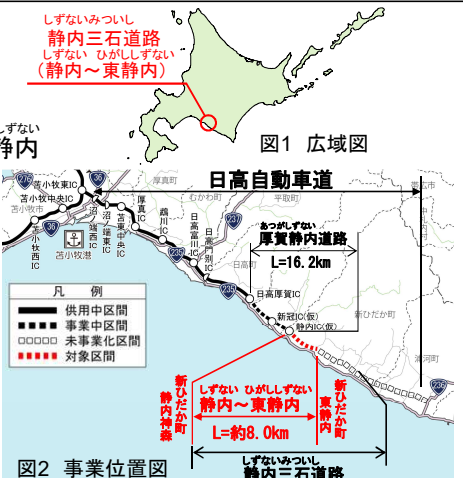


図2 事業位置図

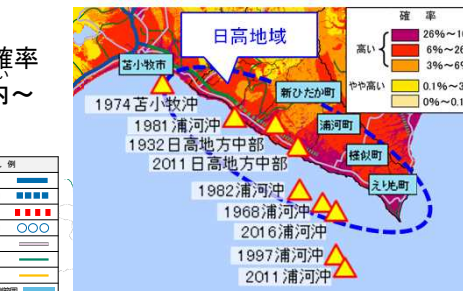


図3 今後30年以内の震度6弱以上の地震発生確率

③高次医療施設へのアクセス

日高地域には心筋梗塞や脳卒中中の急性期医療を担う医療機関がなく、苫小牧市や札幌市の高次医療施設に依存。
新ひだか町から苫小牧市への救急搬送は、心筋梗塞の救命効果が期待できる60分での到達が困難。安心して暮らせる地域を形成するには苫小牧市や札幌市への速達性が課題。

3. 整備効果

効果1 大規模災害発生時の道路機能、代替路の確保

- ・津波浸水範囲を回避し、大規模災害発生時に信頼性の高い道路ネットワークを確保
- 津波浸水予測範囲に位置する国道延長
【現況】浸水区間7.8km(現道延長の85%) → 【整備後】浸水区間0km
- 代替路の確保
【現況】未確保 → 【整備後】確保

効果2 安全性・安定性の高い物流ルート確保による地域産業の活性化支援

- ・市街地部の信号交差点や線形隘路区間、事故危険区間を回避することで、軽種馬等の地域産業の活性化を支援
- 信号交差点・線形隘路区間
【現況】信号7箇所、線形隘路2箇所 → 【整備後】信号0箇所・線形隘路0箇所
- 事故危険区間
【現況】1箇所 → 【整備後】0箇所

効果3 高次医療施設への速達性向上

- ・日高自動車道の整備により救急搬送の速達性が向上し、高次医療施設カバー人口が増加
- 苫小牧市内の高次医療施設60分カバー圏(新ひだか町)
【現況】0人 → 【静内IC(仮)整備時】約12,100人(52%) → 【整備後】約14,200人(61%)
- 苫小牧市内の高次医療施設～新ひだか町(東静内地区)間の所要時間
【現況】72分 → 【整備後】59分(13分短縮)

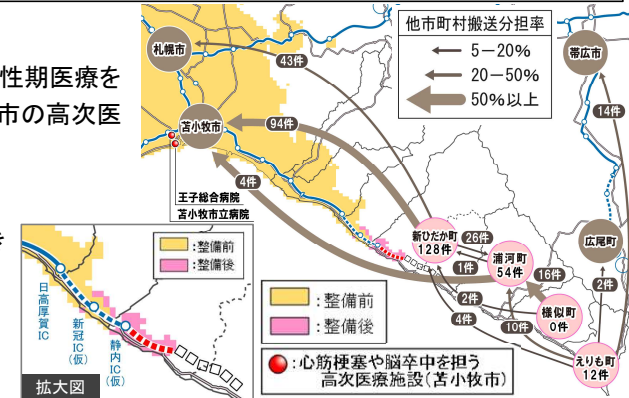


図7 苫小牧市内の高次医療施設60分カバー圏

■費用便益分析結果(貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの)

B/C	EIRR ^{※1}	総費用	総便益
1.3 (1.01)	5.3% (4.1%)	4,083億円 ^{※2} (370億円 ^{※2})	5,299億円 ^{※2} (376億円 ^{※2})

注) 上段の値は厚真IC～浦河を対象とした場合、下段()書きの値は事業化区間を対象とした場合の費用便益分析結果
^{※1}: EIRR: 経済的内部収益率 ^{※2}: 基準年(R3年)における現在価値を記載(現在価値算出のための社会的割引率: 4%)

■道路ネットワークの防災機能評価結果

改善ペア数	脆弱度(防災機能ランク)		累積脆弱度の 変化量	改善度		評価
	整備前	整備後		通常時	災害時	
21 (8)	0.95[C] (1.00[D])	0.95[C] (1.00[D])	▲334.39 (▲77.29)	0.09 (0.06)	0.00 (0.00)	○

注) 上段の値は厚真IC～浦河を対象とした場合、下段()書きの値は事業化区間を対象とした場合の防災機能評価結果

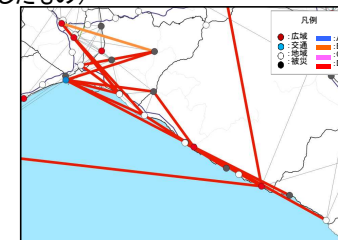
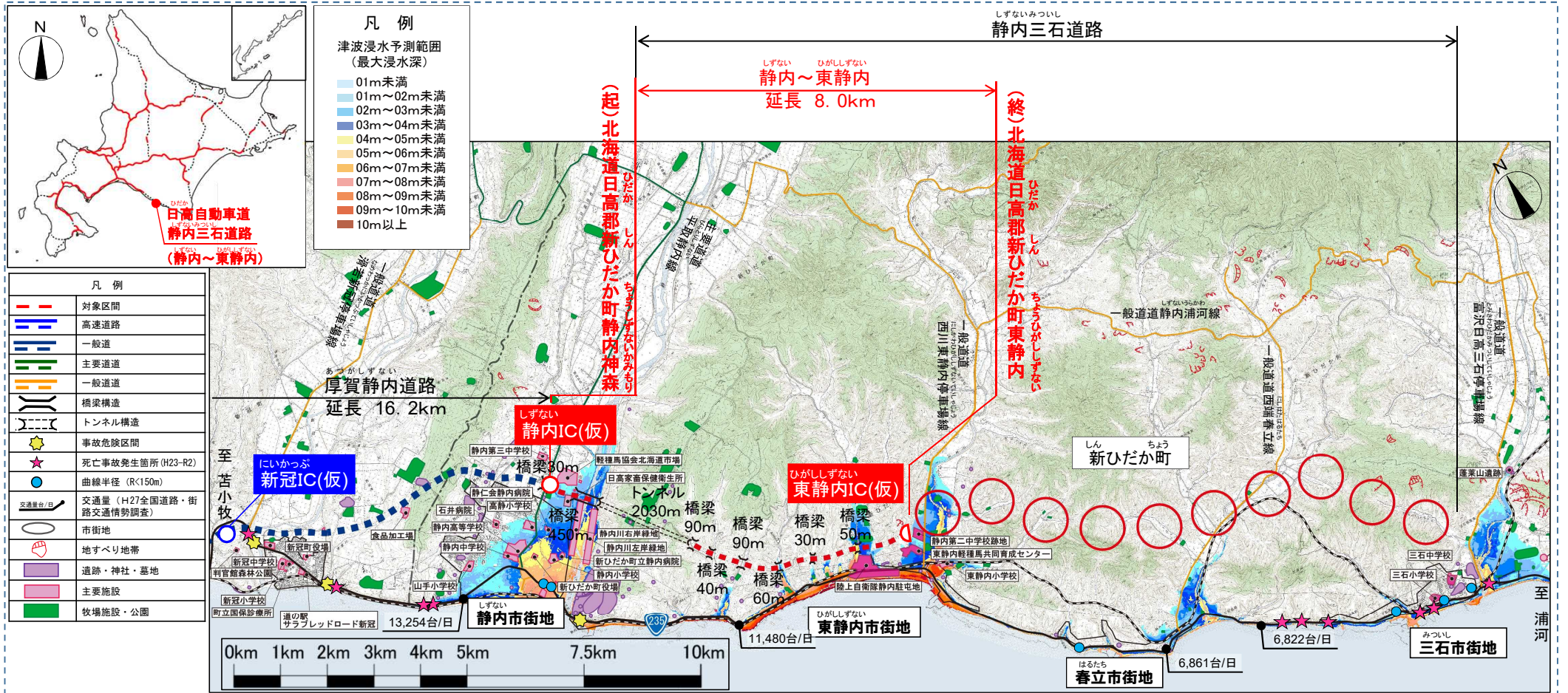


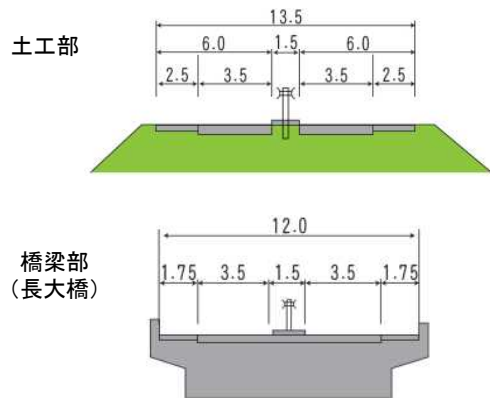
図9 整備後の防災機能ランク

一般国道235号(日高自動車道) 静内三石道路(静内～東静内)に係る新規事業採択時評価



標準横断面図

(単位:m)



計画縦断面図

